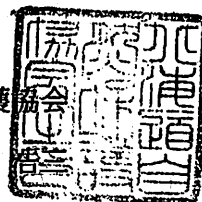


2001年6月27日

北海道知事 堀 達也 様

(社) 北海道自然保護協会

会長 俵



日高横断道路の「政策アセス・再評価」に関連する質問書

このことに関し当協会では、本年2月23日づけで「日高横断道路は目的が破綻し必要性が失われているので工事を中止し『21世紀の日高山脈の自然』を考えることを求める申入れ書・質問書」を提出し、それに対して5月30日づけで知事から「回答書」をいただきました。

その回答によれば、知事は「21世紀の日高山脈の自然はいかにあるべきか」の将来ビジョンに言及することなく、また工事中止の申入れに対しても直接は答えず、日高横断道路は「資源開発」のため必要だからと、工事継続の意志を示しました。

しかし、この回答により「日高横断道路は目的が破綻し必要性が失われた」との疑念がいつそう大きくなりました。

堀知事は1997年2月、時のアセス導入に際して、「社会情勢や道民の皆さんの意識、価値観も大きく変わり、施策の当初の意義や実効性、事業の優先度や投資効果も変わっているものがあります。…時の流れという、過去から現在の検証を通じて、新しい未来を創造していく多面的な政策として、行政自らが、こうした施策の再評価作業をする…」と演説しました。しかし時のアセスを継承した日高横断道路の政策アセスでは、「過去から現在の検証」がまったくなされておられません。

したがって下記事項を質問いたしますので、早急にご回答くださるよう、お願い申し上げます。

なお日高横断道路の「政策アセス・再評価」に関連する当協会からの質問と、知事からの回答は次のとおりで、質問から回答までの時間は、去年は各回とも約2カ月、今回は3カ月余を要しています。（回答書には当協会からの提出が「平成12年3月23日」と誤記されていますが、「2001年2月23日」です。）

	当協会からの質問	知事からの回答
第1回	2000年2月3日	2000年4月10日

第2回	4月26日	7月14日
第3回	8月3日	10月11日
第4回	10月30日	12月28日
第5回	2001年2月23日	2001年5月30日

このような回答に2～3カ月の長時間を要することは、遺憾なことであり、毎回、道庁へ質問状を持参し説明する際に、時間短縮を要望しておりますが、いっこうに改善されません。今後は早急にご回答ください。

記

質問1 「資源開発の内容を具体的に示すこと」に対する回答もれがあるので、回答すること

前回の質問(1)では、「日高横断道路の沿線には、どこに、何の資源があり、それをどのように開発し、どこへ運搬するのか」について、「計画当時の資料に基づいて具体的に明示」することを求めました。

しかし今回の回答では、開発道路の「指定理由」として、「本路線の通過する地域は、農業、畜産業、林業などの第一次産業を基幹として発展してきた地域であり、…これらの資源開発、関連産業の発展に寄与し…」と抽象的に述べられているに過ぎません。このような表現では、北海道のどこの農山村にも適用され得るもので、静内町と中札内村の間に日高横断道路が必要だという説得力が、まったくありません。

今回の回答では、具体的内容の部分が「回答もれ」となっています。したがって「日高横断道路の沿線には、どこに、何の資源があり、それをどのように開発し、どこへ運搬するのか」について、「計画当時の資料に基づいて具体的に明示」してください。

質問2 日高横断道路の着工以来、沿線で行われた資源開発の実績を示すこと

今回の回答によれば日高横断道路は、「新北海道総合開発計画においても、これら産業（農業、畜産業、林業など）の発展、助長が指向されるべきものとされており、…これら資源開発、関連産業の発展に寄与」するとあります。またこの道路によって、「日高にあっては『低開発地域工業開発促進』を軸に、…森林資源活用の加工工業立地をめざし」、「十勝にあっては、…『農村地域工業導入促進』を軸に、…農業構造の高度化をめざし」とあります。

ところで日高横断道路は1984年の着工以来、すでに十数年を経過し、日高山脈の主稜部分は未開削ですが、全長101kmのうち約80km以上は道路としてすでに供用されています。したがって日高横断道路沿線における「資源開発」は、主稜部分のトンネルが完成しなくても（日高～十勝が結ばれなくても）、実行することが可能です。

いうまでもありませんが「開発道路選定基準」の「4」には、「地域開発計画が決定された地域内の道道で資源開発のため必要」とあり、国の「北海道総合開発計画」（計画期間1978～87）、および北海道の「北海道発展計画」（計画期間1978～87）は、いずれも計画期間がすでに終了し、過去のものとなっています。

そこで、日高横断道路が着工されてから現在に至るまでの間に、①日高横断道路の沿線で新規に造成された農地、牧場の位置および規模、造成年、②日高横断道路から派生して新規に開削された林道（既存林道への接続を除く）の位置および延長、開削年、③日高横断道路沿線で新規に開発された鉱山の位置および規模、開発着手年、④日高横断道路沿線で新規に導入された「森林資源活用工業」の事業場の位置および経営規模、導入年、⑤日高横断道路沿線で新規に導入された「農村地域工業」の事業所の位置および経営規模、導入年、について、一覧表と位置図（5万分1地形図または町村管内図など現地を確認できる程度の縮尺のものに記入）の資料を明示してください。

なお「森林資源活用工業」と「農村地域工業」については、日高横断道路沿線部分の資料の他に、静内町全域と中札内村全域での実績を示す資料も添付してください。

質問3 「『道のむこうに、待っているもの』の発行経費を明らかにすること」に対する回答もれがあるので、回答すること

今回の回答によれば、『道のむこうに、待っているもの』については、「道が1千部、開発局が1万部の印刷パンフレットを購入し」とありますが、発行経費（購入経費）が「回答もれ」となっています。

したがって全体の製作経費と北海道が購入した経費を明らかにしてください。